

# 熊本県総合射撃場 業務報告書

(令和6年5月)

熊本県スポーツ振興事業団・ミズノグループ

# 令和6年度 熊本県総合射撃場 業務報告 目次

I	管理業務を行うに当たっての基本方針	1
II	管理運営状況	1～4
	1 利用者対応	
	2 利用者の増加を図るための具体的な取組	
	3 サービス向上を図るための具体的な取組	
III	自主事業状況	4
	1 KSPA・MIZUNO スポーツプログラム	
	2 県全域へのスポーツ振興	
	3 施設の機能を活用した取組	
IV	維持管理状況	5～8
	1 施設・設備の維持管理	
	2 施設の衛生管理	
	3 安全管理及び体制	
	4 環境に留意した管理運営	
V	管理運営体制	8
	1 運営組織、人員配置	
	2 職員研修	
VI	緊急時対策体制	9～10
	1 事故発生時の対策・対応	
	2 火災、地震災害時の対策・対応	
	3 気象災害時の対策・対応	
	4 その他の対策	
	5 保険加入による補償体制	

## 【添付資料】

資料1 施設利用状況

資料2 職員による鉛回収状況

資料3 鉛及び調整池汚泥等の回収作業実績一覧表

## I 管理業務を行うに当たっての基本方針

「本県の射撃競技の普及・振興の拠点」としての役割を担う熊本県総合射撃場の管理を、法令や関係条例を遵守し、利用者第一主義の原点に立ち、また公益性を担保し「県全域のスポーツ振興と県民の健康増進」に貢献することを管理運営の最優先事項として取り組みます。

## II 管理運営状況

### 1 利用者対応

#### (1) 施設利用状況

5月	利用者数		施設利用料	
	今年度	前年度	今年度	前年度
熊本県総合射撃場	661人	524人	2,278,260円	1,407,890円
累 計	1,213人	1,163人	4,069,365円	3,253,470円

※詳細は別添資料のとおり。

※前年度との比較

前年度はクレ射撃大会の開催がなかったが、今年度は1大会開催されたこと、また6月開催の夏季本部公式熊本大会に出場の県外選手が、事前練習で多数利用があったことにより、利用者数・施設利用料ともに増となった。



## (2)使用料の減免

[個人利用]

利用場所	利用人数
クレー射撃場	18人
ライフル射撃場（スモールボア射場）	1人
ライフル射撃場（エアライフル射場）	0人
ライフル射撃場（ビームライフル射場）	2人

## (3)利用者からの苦情、要望等とその対応状況

受付日	苦情、要望等	対応日	対応状況
18日	クレー公式大会の利用者より、熊本射撃場は施設も人も良いとお褒めの言葉を頂きました。	18日	更に良い施設になるように努める。
19日	クレー公式大会の利用者より、熊本射撃場は施設で10年ぶりに来場したのに覚えて頂き感謝します。本部公式お世話になります。	19日	今後も快適にご利用いただけるように努める。
24日	本部公式前の環境整備について県クレー協会会長より、熊本県総合射撃場は日本一の射撃場です。とお褒めの言葉を頂きました。	24日	今後も良い施設と言われるように継続する。

## 2 利用者の増加を図るための具体的な取組

### (1)利用者への情報提供

各情報は、ホームページ・SNS・パンフレット・リーフレットにより提供しています。

### (2)利用拡大のための取組内容

#### ①利用機会の拡大

大会名	供用日及び時間変更日時	使用施設
ビームライフルクラブ	1日 (水) 17:30 ~ 19:30	ライフル棟
ビームライフルクラブ	8日 (水) 17:30 ~ 19:30	ライフル棟
ビームライフルクラブ	15日 (水) 17:30 ~ 19:30	ライフル棟
ビームライフルクラブ	22日 (水) 17:30 ~ 19:30	ライフル棟
ビームライフルクラブ	29日 (水) 17:30 ~ 19:30	ライフル棟

#### ②クレー射撃場

公式戦よりも射撃位置が前にある「トラップフィールド」を導入し、初心者でも楽しめるように設定しています。

#### ③利用者優待制度

スタンプカードや事前予約メリット性など優待制度を行っています。

### (3)地域、関係機関・ボランティア団体等との連携・協働

団 体	内 容	期 日
(株) サニーワールド	ツアープランでビームライフル射撃を利用 (14名)	25日

## 3 サービス向上を図るための具体的な取組

### (1)利用者主体のサービス提供

大 会 名	実施内容	開催日
国体予選 (第1回) 及び春季	AR射場の照度設定及びターゲットホルダーの調整、BR射場の照度設定及び動作点検、SB標的の昇降	5日
第一次鹿児島公式	大会受付補助、射群編成ボード作成補助、スコアカード作成、大会参加記録用紙作成	18・19日

## (2) 利便性の向上

内 容
・銃の手入れ用具の貸出 ・雨傘の無料貸出 ・休憩用ベンチの設置 ・コピーFAX サービス など

## (3) その他の取り組み

### ① 地域への貢献

5月は、地域への貢献はありませんでした。

## Ⅲ 自主事業状況

### 1 KSPA・MIZUNOスポーツプログラム

#### (1) スポーツ教室

##### ① 通年型

教室名	時間	実施日	参加者数
ビームライフル教室	①10:00～11:00 ②11:30～12:30	26日	4名
ビームライフルクラブ	17:30～19:30	1・8・15・ 22・29日	13名

### 2 県全域へのスポーツ振興

5月は、県全域へのスポーツ振興はありませんでした。

### 3 施設の機能を活用した取組

#### (1) クレー射撃

##### ① トラップフィールド競技の導入

5月は、トラップフィールドの利用はありませんでした。

#### (2) ライフル射撃

##### ① 教習射撃の実施

5月は、教習射撃の実施はありませんでした。

#### (3) 会議室・研修室

##### ① 会議室・研修室の多目的活用(クレーシューティングシミュレーター)の導入)

行 事 名	実 施 日	参加者
クレーシューティングシミュレーター	3・6・26日	10名

## IV 維持管理状況

### 1 施設・設備の維持管理

#### (1) 保守管理計画

##### [ 職員による日常点検一覧 ]

業 務 名	業務内容	実施日
建物点検	目視点検	毎日
消防設備点検	目視点検	毎日
自動ドア点検	動作確認、機能・周辺設備点検調整	毎日
管理機械(芝刈機等)点検	動作確認、燃料・オイル点検他	毎日
空調設備点検	動作確認、機能・周辺設備点検調整	随時
放送設備点検	動作確認、機能・音量点検整備	随時
射撃機器装置点検	動作確認、機能・通電点検整備	随時

##### [ 委託による保守点検一覧(定期) ]

業 務 名	業務内容	実施回数	実施日
			異常有・無
自家用電気工作物保安管理	漏電監視	毎日 24時間	毎日24時間
			異常無
浄化槽保守点検	浄化槽の保守点検	毎月	22日
			異常無

##### [ 委託による保守点検一覧(臨時) ]

業 務 名	業務内容	実施回数	実施日
			異常有・無
クレー放出機機械管理業務委託	大規模大会開催時、放出機等のトラブル対応や機械の不具合等に対応するため。	1回	30・31日
			異常無

#### (2) 修繕・改修

##### [ 自主修繕等一覧 ]

実施内容	場 所	実施日
スモールボア配線コード修繕	ライフル射撃場	6日

[ 業者修繕等一覧 ]

実施修繕	場 所	実施日
フェンスネット移設修繕	スキート射場	21日
手押し芝刈り機修繕	管理倉庫内手押し芝刈り機	30日

(3)外構や植栽の維持管理

[ 業者委託 ]

5月は、業者委託はありませんでした。

[ 職員作業 ]

場 所	実施内容	実施日
クレー射場奥平地、 スキート射場奥平地、 レンガ並木、ライフル棟辺、 管理棟裏、管理棟横 トラップAB、スキートAB、 SB射場、正面ゲート付近、 受水槽周辺、カーブミラー 上平地、入口左側、上り道 カーブ左右法面、モニュメ ント	除草剤散布、除草、回収、落葉回収、剪 定	2・3・7～11・13・ 16・20・22～26・30 日
トラップB射場	イノシシ被害（穴掘り）修復	13・15・27日
スキート射場防護ネット付近	クレー・ワッズ回収分別	28日



## 2 施設の衛生管理

職員作業により、清潔で快適な空間の提供を行っています。

### [ 職員による日常清掃内容 ]

頻 度	区 域
毎日実施	(管 理 棟) 会議室、研修室、事務室、トイレ、廊下ホール、更衣室、 (ライフル棟) 玄関、トイレ (そ の 他) 屋外トイレ、ごみ収集
週 2 回	(ライフル棟) 審査室、ビームライフル会場、エアーライフル会場、 スモールボア会場、通路、
週 1 回	(管 理 棟) 銃器保管庫、倉庫 (そ の 他) クレー放出機地下ピット、屋外機械室、駐車場、一般ごみ処分
月 1 回	(そ の 他) 火薬庫、クレー庫、倉庫
随 時	窓ガラス、雨水排水設備、不燃物処分

### [ 職員等による特別清掃内容 ]

場 所	実施内容	実施日
トラップ放出機	放出口エアー清掃	9・27日
スキート射場防護ネット	ネット補修	30日

## 3 安全管理及び体制

### (1) 保安警備業務と体制

開場時間帯は職員による警備、閉場時間帯は株式会社キューネットによる警備を行い、24 時間体制で利用者の安全確保と防犯・防火・防災に努めています。

### [ 不審者や夜間不法侵入者等の緊急対応 ]

5 月は、不審者や夜間不法侵入者等の緊急出勤はありませんでした。

区 分	業務内容	実施予定時期
職員実施	施設・設備点検、開閉錠、不審者、不法行為の 発見や排除等	8:30～9:00 日中は随時 17:30～18:00
業者 実施	機械警備	毎日、無人となる 夜間から朝まで
	人的警備	不審者、不法行為の発見などの問題発生時 随時対応

## (2)環境保全体制

環境省が定めている「射撃場に係る鉛汚染調査・対策ガイドライン」に基づき、鉛弾等の環境保全対策を行っています。また、回収作業は、グループ全体で取り組んでいます。

業 務 名	実 施 日
鉛回収、分別作業(職員により実施)	別添資料 2 参照
調整池清掃・汚泥回収	別添資料 3 参照
水質検査(採水日)	なし

## 4 環境に留意した管理運営

「SDGs」の目標達成に向けた取り組みのひとつとして、環境省の認証制度であるエコアクション 21 の方針に準じ「省エネ・省資源」「ゴミの減量化」「リサイクル」「グリーン購入」等、環境に配慮した取り組みを推進します。

取り組み	内 容
環境啓発活動	地域公道のゴミ拾い
省エネ・省資源への取組み	LED や節水コマの取付など、節電・節水に努める
リサイクル・リユース活動	回収した鉛や薬きょうを活用したストラップ等作成、販売

※(一財)熊本県スポーツ振興事業団は「第 1 期熊本県SDGs登録事業者」です。

## V 管理運営体制

### 1 運営組織、人員配置

射撃場長(統括責任者)のもと 1 課体制により、各種事業を円滑に行っています。

利用者対応は、開場時間帯に対応した勤務体制をとり、ホスピタリティな対応を行っています。

利用案内・窓口受付	開場時間	職員配置時間	備 考
管理棟受付窓口(4~9月)	9:00~18:00	8:30~18:30	施設点検・供用準備を含む
管理棟受付窓口(10~3月)	9:00~17:00	8:30~17:30	施設点検・供用準備を含む

### 2 職員研修

(1) 一般研修・階層別研修・専門研修・資格取得研修・他施設への派遣研修

区分	研修名・科目	対 象	実施日
内部研修	本部公式ファイナルプーラー研修	担当者	21日

## VI 緊急時対策体制

### 1 事故発生時の対策・対応

事故発生に備えて、全職員に“危機管理マニュアル”の徹底を図るとともに、AEDをはじめ、応急処置に必要な機器・用具を設置しています。さらに事故に対する保険に加入し、万全の補償体制をとっています。

#### [ 事故等に伴う職員の出動 ]

5月は、事故等に伴う職員の出動はありませんでした。

#### [ 常備機器・用具 ]

機器・用具等	配置場所
AED(自動体外式除細動器)	管理棟受付前
使い捨て担架(ディスポストレッチャー)	管理棟受付
救急用具:消毒薬、包帯、三角巾、添木 等	管理棟受付

### 2 火災、地震災害時の対策・対応

区 分	内 容	対 応	対応日
地震	熊本地震による施設対応	危険区域の立入禁止措置	1～31日

### 3 気象災害時の対策・対応

区 分	内 容	対 応	対応日
その他	大雨後施設点検	屋内外施設及び機械設備の異常確認点検の実施(異常なし)	28日

### 4 その他の対策

#### (1) その他の対策・対応

区 分	内 容	対 応	対応日
熱中症	定期的に熱中症測定器で計測し、利用者に情報を提供	定期計測 利用者へ熱中症予防呼び掛け	1～31日
熱中症	熱中症注意喚起ポスター掲示	ポスター掲示による利用者への注意喚起	1～31日

(2) 国民保護法に定める避難施設として指定された場合の支援

災害に備えて、飲料水を備蓄しています。

[ 危機管理マニュアル ]

・台風、豪雨対応	・火災、地震災害対策	・微小粒子状物質(PM2.5)対策
・施設の爆破、占拠等対応	・人的災害対応	・新型コロナウイルス感染拡大防止
・光化学スモッグ対応	・落雷事故対応	マニュアル
・新型インフルエンザ対応行動計画	・熱中症予防対策	

5 保険加入による補償体制

[ 賠償保険加入状況 ]

保険内容	補償内容
スポーツファシリティーズ保険 (公益財団法人日本スポーツ施設協会)	[施設賠償責任保険] 対人賠償:1 事故につき 5 億円(1 名につき 3 億円) 対物賠償:1 事故につき 2 億円
	[スポーツ災害補償保険] 死亡・後遺障害補償:200 万円 医療補償:入院 1 日 2,500 円
行事参加者補償保険 (Chubb 損害保険株式会社)	死亡・後遺障害補償:200 万円 医療補償:入院 1 日 3,000 円 通院 1 日 2,000 円
個人情報漏えい保険 (東京海上日動火災保険株式会社)	賠償:1 請求につき 5,000 万円 対応費用:1 事故または1請求につき 2,000 万円







鉛及び調整池汚泥等の回収及び鉛分別作業実績一覧表

実施日	曜日	作業人数	作業箇所	鉛回収量	側溝土砂量 (鉛含む)	調整池 汚泥回収	調整池 枯葉等除去	備考
3日	水	3人	倉庫横	110kg				
8日	月	2人	倉庫横	5kg				
9日	火	6人	全面回収	55kg				
11日	木	2人	倉庫横	10kg				
15日	月	3人	倉庫横	130kg				
19日	金	1人	倉庫横	40kg				
22日	月	5人	倉庫横	250kg				
23日	火	7人	全面回収	50kg				
24日	水	2人	倉庫横	10kg				
25日	木	1人	倉庫横	10kg				
26日	金	1人	倉庫横	10kg				
27日	土	1人	倉庫横	10kg				
29日	月	3人	倉庫横	80kg				
<b>4月回収量合計(37人)</b>				<b>770kg</b>	<b>0kg</b>	<b>0kg</b>	<b>0回</b>	<b>33,338枚×0.024kg=800kg</b>
1日	水	2人	倉庫横	130kg				
6日	月	2人	倉庫横	30kg				
7日	火	10人	全面回収	450kg				
21日	火	10人	全面回収	450kg				
<b>5月回収量合計(24人)</b>				<b>1,060kg</b>	<b>0kg</b>	<b>0kg</b>	<b>0回</b>	<b>42,061枚×0.024kg=1,009kg</b>
<b>合計(延人数 61名)</b>				<b>1,830kg</b>	<b>0kg</b>	<b>0kg</b>	<b>0回</b>	<b>75,399枚×0.024kg=1,809kg(累計)</b>
<b>回収量／鉛散乱量 = 1,830kg／1,809kg = 101%(鉛回収率※)</b>								
* 調整池汚泥回収量は、乾燥前の目視量である。								